

教師や保護者・地域の願い

- しっかり聞いて、はっきり話せる子ども
- 進んで学び、学び合い、高め合う子ども
- あいさつ、あとしまつ、返事ができる子ども

令和7年度 重点目標

「最後まで ねばり強く がんばろう！」

「よく考え、進んで学ぶ子どもを育てます」

(確かな学力の向上)

◎話す・聞く力の育成

- ・ 相手の考えをよく聞き、自分の意見や考えをはっきり話す力を育てられる授業を展開します。

◎知識・技能の習得とそれを活用する力の育成

- ・ 授業を分かりやすく工夫し、基礎学力の定着に努めます。
- ・ すべての学びの土台となる「基礎的・汎用的読解力(リテラシー力)」の向上に努めます。
- ・ 個に応じた指導を工夫します。
- ・ ICTサポーターと連携し、情報活用能力の育成に努めます。

◎学びの習慣の形成

- ・ 授業と家庭学習の関連を図り、課題を計画的に出し15分×学年の学習習慣を定着させます。

◎多様な読書活動の推進

- ・ 読書タイムを活用して、読書習慣を身に付けさせます。
- ・ 学校司書と連携し、図書室の活用と図書便りの発行により児童の読書活動を推進します。

- 授業が分かったと感じる児童が90%
- 家庭学習(15分×学年)の定着が80%
- 現職とBUDで1教師年3回の互見授業
- 月に4冊以上読書する児童が80%
(BUD:ブラッシュアップデー)

「家庭・地域に開かれた学校をつくります」

(家庭・地域社会との連携)

◎地域の教材や人材の積極的な活用

- ・ 外部団体、外部講師、地域の方を講師とした授業や教育活動を計画的・継続的に実施します。

◎学校・学級の情報発信の工夫

- ・ 授業を公開し、ホームページ等により、子どもたちの活動の様子を積極的に発信します。
- ・ 子どもたちによる情報発信の機会や場を設けます。

令和7年度 いわき市立久之浜第二小学校 学校経営・運営ビジョン

基本理念

『知・徳・体の調和を図り、生きる力を育む学校の創造』

- ① 子どもたちのためにを第一に考える学校
『個々の子どものよさを伸長させ、自己肯定感を育める学校』
- ② 創造、感動、喜びがあり夢をもてる学校
『子どもに夢をもたせ、自己の可能性にチャレンジできる学校』
- ③ 保護者や地域とともに歩み、その期待と願いに応え、地域を元気にする学校
『地域に支えられた学校、地域に貢献する学校』

教育目標

考える子 なかよい子 がんばる子

久二小の5つの約束

「互いに認め合う、なかよい子どもを育てます」

(豊かな心の育成)

◎自己肯定感を育てる学級経営

- ・ 互いのよさを認め合える温かな学級づくりを通して、自己肯定感を育て、いじめのない学級をつくります。

◎道徳教育の充実

- ・ 道徳の授業を要として、一人ひとりの違いを認め、様々な活動の中で、豊かな心を育てます。

◎体験活動の充実

- ・ 縦割り班での活動や地域の方との協働を通して、豊かな人間性や社会性を育てます。

◎基本的な生活習慣の定着

- ・ 家庭と連携し、「あいさつ」「安全」「後始末」の「3"あ"運動」を推進し、生活習慣をしっかり身に付けさせます。

- いじめの見逃しゼロ、不登校ゼロ
- 道徳の授業公開(BUD、授業参観等)
- 「学校が楽しい」児童が100%
- 久之浜中学校区との連携、児童保護者の肯定評価が80%以上

いわき市教育委員会の重点構想【目指す子ども像】

- 自分の夢や進路実現を目指す子ども
- 学びを大切にできる子ども
- あいさつのできる子ども
- 思いやりの心をもつ子ども
- 生命を大切にできる子ども
- 健康でたくましい体をもつ子ども

校訓 あいさつ・安全・あとしまつ

「心と体をきたえ、がんばる子どもを育てます」

(体力の向上・健康の増進)

◎体育の授業の充実

- ・ 運動身体づくりプログラムで体力を高めます。
- ・ めあてをもって学習に取り組みせ、自己の課題解決および自己目標の達成に努めさせます。

◎健康教育の推進

- ・ 家庭や栄養教諭と連携し、食育を推進します。
- ・ 歯磨き、手洗い、うがいを励行させ健康を守ろうとする意識を高めます。
- ・ 感染症の予防に努めさせます。

◎安全教育の徹底と防災・減災教育の推進

- ・ 放射線を含む日常の安全や緊急時の対応に関心を高め、安全に生活する態度を育みます。

- 新体力テストABの人数 各学年60%以上
- 虫歯罹患率35%以下、完治率90%以上
- 交通事故ゼロ、災害による事故ゼロ

「子どもたちとともに学び続ける

教師集団をつくります」(教職員の資質向上)

◎研修の充実

- ・ 子どもの学びが促進する授業が展開できるように、日々の授業を計画し、実行し、謙虚に評価改善します。
- ・ 授業研究及びBUDを通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業改善に努めます。(BUD:ブラッシュアップデー)

◎服務倫理委員会の充実

- ・ 事例研究などを通して教育公務員としての服務の在り方を真剣に話し合います。
- ・ 教職員の主体的な運営を通して、研修内容を充実させます。

【校長より】少人数教育の良さを最大限に生かし、個別指導の充実や直接体験や協働を通し、学校・家庭・地域が一体となって、たくましく生きる力を育成し、児童の可能性を伸ばす教育活動を展開します。